

湘南広域都市行政協議会

令和7年度事業計画

湘南広域都市行政協議会

令和7年度事業計画

1 事務研究部会

- (1) 旅券発給事務の共同処理に係る連絡調整・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 広域合同研修講座の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (3) 2040年問題の解決に向けた調査研究事業・・・・・・・・・・・・ 5
- (4) 養護老人ホーム湘風園の今後のあり方の検討・・・・・・・・・・ 7

2 都市農業部会

- (1) 2市1町の農畜水産物の魅力の発信・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (2) 新規就農者の受入及び定着支援による耕作放棄地の発生防止及び解消・・ 11

3 広域文化活動部会

- 文化芸術活動の支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

4 広域情報部会

- I C T活用に関する共通課題の調査研究・情報共有・・・・・・・・ 15

5 広域環境部会

- 脱炭素社会の実現に向けた市民・町民・事業者向け環境事業の実施・・・・ 17

6 産業振興部会

- 広域産業振興施策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

7 人権・ジェンダー平等推進部会

- 人権男女共同参画に向けた取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

8 スポーツ振興部会

- (1) アーバンスポーツを基軸とした地域の活性化・・・・・・・・・・・・ 24
- (2) スポーツチームとの連携による地域の活性化・・・・・・・・・・・・ 26

湘南広域都市行政協議会 令和7年度事業計画

1 テーマ	旅券発給事務の共同処理に係る連絡調整											
2 概要・取組経過	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町では、住民サービスの向上を図るための広域連携施策として、神奈川県から旅券発給事務の権限移譲を受け、平成24年7月2日に「湘南パスポートセンター（藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町）」を開設した。 ・2市1町の旅券発給事務所管部署による連絡調整会議を定例的に開催して、湘南パスポートセンターに係る事務の管理、執行について連絡調整を行うとともに、定例会で運営状況を報告している。 ・令和4年度末からマイナンバーカードを用いた電子申請の導入（切替申請のみ適用）及び令和5年10月開始の電子申請における手数料のクレジットカード納付について、神奈川県やその他関係機関との連携を密にし、情報収集及び情報共有を図った。 ・現在運営しているアイクロス湘南の賃貸借契約が令和9年5月末で終了するため、今後の運営に関して申請件数や実態を分析し、神奈川県その他関係機関と連絡調整を行っている。 											
3 事業の目的	県から権限移譲を受けた旅券発給事務について、2市1町が共同で行うことにより、住民サービスの向上を図る。											
SDGsとの関連												
	【目標11】住み続けられるまちづくりを	【目標17】パートナーシップで目標を達成しよう										
【事業目的に係るSDGsの視点】 ・SDGsの目標17に掲げられているグローバルパートナーシップの活性化の基礎となる旅券の申請・交付事務を確実に安定的に実施する。												
4 期待する成果	身近な場所で旅券の発給申請や受取ができることにより、住民の利便性が高まる。											
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会等に湘南パスポートセンターの運営状況等を報告し、必要な調整を行う。 ・2市1町の旅券発給事務所管部署による連絡調整会議を定例的に開催して、湘南パスポートセンターに係る事務の管理、執行について連絡調整を行う。 ・収入証紙の廃止及び電子申請の段階的なメニュー追加に対応するため神奈川県と連絡調整を行いながら、引き続き円滑かつ適切な運用を行う。 											
	スケジュール											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	■ 2市1町連絡調整会議 ※県・市町旅券事務連絡会議											
収入証紙の廃止及び電子申請の段階的なメニュー追加に関する連絡調整											➔	

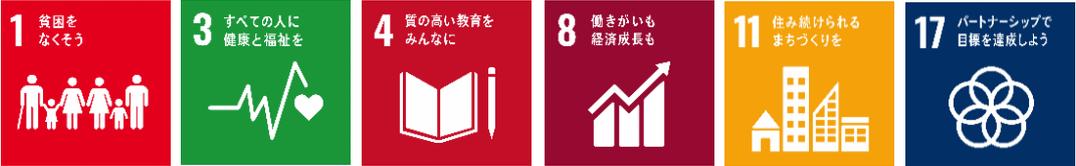
取組の全体像									
令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度			
6 今後の展望・方向性	適正かつ円滑な旅券発給事務の執行		適正かつ円滑な旅券発給事務の執行		適正かつ円滑な旅券発給事務の執行		適正かつ円滑な旅券発給事務の執行		
	新規・切替旅券申請の電子化の運営		新規・切替旅券申請の電子化の運営		新規・切替旅券申請の電子化の運営		新規・切替旅券申請の電子化の運営		
	収入証紙の廃止に向けた調整								
	令和9年5月以降の運営に向けた関係機関調整		令和9年5月以降の運営に向けた関係機関調整						
	<ul style="list-style-type: none"> ・年度毎の連絡調整を通じて課題解決を図り、適正かつ円滑な旅券発給事務を行う。 ・収入証紙について令和7年9月末の販売終了、令和8年3月末での取扱終了の予定が示されたことから、神奈川県やその他関係機関と連絡調整を進めていく。 ・現在の所在地であるアイクロス湘南の賃貸借契約が令和9年5月末で終了するため、今後の運営に向けて関係機関と調整を進める。 								
7 予算見込額 (千円)	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		
	0		0		0		0		
8 予算要求額	節別		金額 (千円)		内訳等				
	報 償 費		0						
	旅 費		0						
	需 用 費		0						
	役 務 費		0						
	委 託 料		0						
	使用料及び賃借料		0						
	支出計		0						
	財源内訳		金額 (千円)		備考				
	特定財源	市町村振興協会助成金		0		湘南パスポートセンターの運営経費は、「2市1町の一般旅券の申請受理等に関する事務の委託に係る経費負担等に関する協定書」に基づき各市町で負担。			
		事業費負担金(2市1町)		0					
その他		0							
一般財源		0							
収入計		0							
9 備考									

湘南広域都市行政協議会 令和7年度事業計画

1 テーマ	広域合同研修講座の開催											
2 概要・取組経過	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度より、効果的な広域合同研修講座を実施するために、職員研修担当課と協議を重ね、平成27年度から研修を統合して実施している。 2市1町の職員を対象に、平成27年度から「フューチャーセッション研修講座」を開催し、チームビルディング研修及び広域行政に関する研修を実施している。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症抑止の観点から合同研修の開催を断念した。 令和3年度は、「フューチャーセッション研修講座」を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域別研修助成金が交付を受けられないこととなったため、当該研修は中止とした。それに代わり、市町村共同事業助成金を財源に、eラーニングを活用したSDGsに関する職員研修を開催した。 令和4年度及び5年度は引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、地域別研修助成金の交付を受けられないこととなったため、市町村共同事業助成金を財源にSDGsに関する職員研修を開催した。 令和6年度については、コロナ禍を経て変容しつつあるコミュニケーションに着目し、組織内のチーム力向上に役立つホスピタリティコミュニケーション研修を開催した。 											
3 事業の目的	2市1町の職員が自治体の枠を超えて研修をすることで、広域的な行政運営の視点を身につけるとともに、職員間の交流、連携を図る。											
SDGsとの関連	 											
	【目標11】住み続けられるまちづくりを	【目標17】パートナーシップで目標を達成しよう										
	【事業目的に係るSDGsの視点】 SDGs目標17の達成に向け、次の目的を持って事業を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> 相互の行政サービスについて理解を深める。 交流を図ることにより、幅広い視野と広域的な行政感覚を身につける。 											
4 期待する成果	職員の資質向上とともに、住民サービスの向上や行政の効率化につながる。											
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 2市1町の職員を対象とした広域合同研修講座を開催する。 事業の目的である職員の広域的な視点の習得やスキルアップに向け、効果的な研修内容の検討を進めるほか、スキル定着のためのフォローアップ等の方法について検討を進める。 研修の検討、実施にあたっては、広域行政の視点のほか、2市1町の共通課題等をテーマにしなが企画し、職員の資質向上を図るほか、広域的視点により各市町における課題解決、また各市町共通の課題解決に寄与する職員の育成を目指す。 											
	スケジュール											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催骨子の検討						次年度の検討						
内容の決定												
調整及び準備						■研修会の開催						

6 今後の展望・方向性	取組の全体像			
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
<p>・ 2市1町で開催するメリットを十分活かしながら、広い視野を持った人材の育成に主眼をおいた研修を実施することで、実務にも反映できるスキルや手法を身につけていく。</p> <p>・ 効果的な研修内容、スキル定着のためのフォローアップ方法等の検討を進めていくほか、単年度研修に加えて、年度を跨いでの中長期的な研修プログラムについても各市町の研修計画等との調整も兼ねながら検討を進めていく。</p>				
7 予算見込額 (千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	300	300	300	300
8 予算要求額	節別		金額 (千円)	内訳等
	報 償 費		270	講師謝礼
	旅 費		0	
	需 用 費		27	研修用消耗品等
	役 務 費		3	振込手数料等
	委 託 料		0	
	使用料及び賃借料		0	
	支出計		300	
	財源内訳		金額 (千円)	備考
	特定財源	市町村振興協会助成金	300	(公財) 神奈川県市町村振興協会の市町村共同事業助成金を活用 ※地域別研修助成金の再開状況により変更の可能性あり。
		事業費負担金(2市1町)	0	
その他		0		
一般財源		0		
収入計		300		
9 備考				

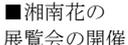
湘南広域都市行政協議会 令和7年度事業計画

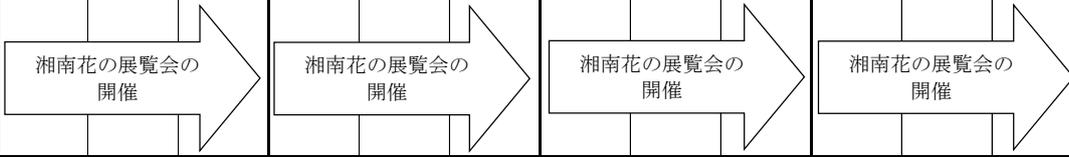
1 テーマ	2040年問題の解決に向けた調査研究事業											
2 概要・取組経過	<p>・平成22年度より、「将来的に担う共同処理にふさわしい事務事業」や「広域的な行政課題の解決に資する事務事業」について調査研究を進め、平成28年度からは2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた関連事業の周知活動や、以前の東京オリンピックの際に活躍した帆船「やまゆり」の乗船体験を実施し、機運醸成を図った。</p> <p>・令和2年度より、国連が採択したSDGsについて2市1町が広域連携で推進することを目標とした検討をはじめ、令和3年度からSDGs推進事業として、職員合同研修や圏域住民を対象とした講演会、中小企業向けセミナーの開催、啓発物品(エコバッグ)の作成やイベント等での活用といった普及啓発の取組を行い、令和6年度においても職員合同研修、企業向けセミナーを実施した。</p> <p>・SDGsの認知度については、各種調査結果によれば全国的に大幅に向上しており、事務研究部会としての普及啓発の取組は一定の目的を果たしたものと考える。また、2030年のSDGsの達成に向けては、各部会事業や協議会全体を通してSDGsを推進していくフェーズにあるものとする。</p> <p>・令和7年度においては、新たな調査研究テーマに「2040年問題」を掲げ、人口減少と少子高齢化の進行により表面化する様々な社会課題を想定し、広域的な解決に向けた取り組みについて検討を始める。</p>											
3 事業の目的	<p>・2市1町における広域連携の可能性を調査研究し、新たな広域連携施策の実現を図る。</p> <p>・人口減少と少子高齢化の進行により表面化する様々な社会課題に対して、広域的な解決を目指す。</p>											
SDGsとの関連												
	<p>【目標1】貧困をなくそう</p> <p>【目標4】質の高い教育をみんなに</p> <p>【目標11】住み続けられるまちづくりを</p>	<p>【目標3】すべての人に健康と福祉を</p> <p>【目標8】働きがいも経済成長も</p> <p>【目標17】パートナーシップで目標を達成しよう</p>										
4 期待する成果	<p>・職員の知識が深化し、「2040年問題」に対する意識醸成が図られる。</p> <p>・政策立案に長けた人材の育成に寄与する。</p>											
5 事業の内容	<p>・「2040年問題」について圏域の意識醸成を図るため、職員を対象とした講演会（セミナー）を開催する。</p> <p>・講演内容には、政策立案の視点を盛り込む。</p>											
	スケジュール											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	■第1回事務研究部会			■第2回事務研究部会						■事業の振り返り、次年度の方向性の検討		
	■研修に向けた検討 講師依頼の調整等の準備						■第3回事務研究部会					
							■職員研修の開催					

	取組の全体像				
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
6 今後の展望・方向性	講演会の開催	講演会の開催			
	次年度事業の検討	次年度事業の検討	次年度事業の検討	次年度事業の検討	
「2040年問題」について職員の意識醸成を図り、圏域において課題解決に係る取組が行われる状態を目指す。					
7 予算見込額(千円)	令和7年度 222	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
8 予算要求額	節別	金額(千円)	内訳等		
	報償費	200	講師謝礼		
	旅費	0			
	需用費	19	模造紙等		
	役務費	3	振込手数料		
	委託料	0			
	使用料及び賃借料	0			
	支出計	222			
	財源内訳	金額(千円)	備考		
	特定財源	市町村振興協会助成金	222	(公財)神奈川県市町村振興協会の市町村共同事業助成金を活用	
		事業費負担金(2市1町)	0		
その他		0			
一般財源	0				
収入計	222				
9 備考					

取組の全体像											
令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度					
6 今後の展望・方向性	再整備予定事業の進捗確認及び情報共有		再整備予定事業の進捗確認及び情報共有		再整備予定事業の進捗確認及び情報共有		再整備予定事業の進捗確認及び情報共有				
	運営法人の取組確認及び働きかけ		運営法人の取組確認及び働きかけ		運営法人の取組確認及び働きかけ		運営法人の取組確認及び働きかけ				
再整備に向けて、必要な連絡調整を行う。併せて湘風園の円滑な運営を図ることを目的とする社会福祉法人湘南広域社会福祉協会幹事会や湘風園の方向性を決めていく組織である評議員会、理事会の協議等を経て、運営法人の取組について進捗確認及び改善に向けての働きかけを行いながら、湘風園の再整備について指導・助言等を行う。											
7 予算見込額(千円)		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度			
		0		0		0		0			
8 予算要求額		節別		金額(千円)		内訳等					
		報償費		0							
		旅費		0							
		需用費		0							
		役員費		0							
		委託料		0							
		使用料及び賃借料		0							
		支出計		0							
		財源内訳		金額(千円)		備考					
		特定財源		市町村振興協会助成金		0		施設再整備にかかる経費は、県の補助金や「養護老人ホーム湘風園の再整備に伴う費用負担に関する協定書」に基づき各市町で負担。			
				事業費負担金(2市1町)		0					
その他				0							
一般財源		0									
収入計		0									
9 備考											

湘南広域都市行政協議会 令和7年度事業計画

1 テーマ	2市1町の農畜水産物の魅力の発信											
2 概要・取組経過	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度以降、2市1町統一ブランド農産物等の創出に向け調査研究を進めていく中で、「地域の魅力発見ツアー」や「湘南花の展覧会」を開催し、消費者目線での地域ブランドについての調査を行ってきた。 平成28年度は、神奈川県で育成品種である「湘南ポモロン」にターゲットを絞り、商業者目線及び消費者目線での湘南ポモロンの価値を調査した結果、「湘南ポモロン」の価値は一定程度高いものがあるということがわかった。しかしながら、商業者においては、各市町の温度差が感じられ、生産者の「湘南ポモロン」に対する認識も異なっていることが判明した。このことから、2市1町で統一した課題解決策を実施していくこと、また同じスピード感をもってそれを実施していくことが困難な状況にあるという認識に至り、今後は各市町がそれぞれの課題に応じた手段によりPR活動を継続していくことが適切であると判断し、都市農業部会としての「地域ブランド創出事業」は廃止する方向で意見がまとまった。 平成29年度の「地域の魅力発見ツアー」については旅行業法に抵触する恐れがあることも踏まえ検討した結果、開催を見送ることとした。また、「湘南花の展覧会」は、会場をテラスモール湘南から湘南モルフィルに移して開催し、新たな消費者の湘南の花のPRを行った。 平成30年度は、会場をテラスモール湘南に戻して「湘南花の展覧会」を開催した。 令和元年度は、会場を湘南モルフィルに移して「湘南花の展覧会」を開催した。 <p>このイベントは参加者や来場者から好評を得ており、また生産者も市町の枠を超えて意欲的に取り組んでもらえていることから、広域イベントとしての開催価値は高いものであるため、部会としても今後も重点的に力を入れて事業継続していく予定である。その他の事業については、生産者等から具体的な要望が出た場合などは、事業実施に向けてそのニーズや必要性について検討していくこととした。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止とした。 令和4年度は感染対策を行った上、内容を簡素化し開催した。 令和5年度及び令和6年度は長久保公園で開催した。 											
3 事業の目的	2市1町の農畜水産物を共同してPRすることにより、地域の消費者へその魅力を効果的に発信し、地産地消を促進する。											
SDGsとの関連	 											
	【目標2】飢餓をゼロに						【目標17】パートナーシップで目標を達成しよう					
	【事業目的に係るSDGsの視点】 2市1町で共同し、持続可能な農業を促進する											
4 期待する成果	2市1町が共同してPRすることで発信力が強まり、2市1町の農畜水産物の消費活動の活発化が期待できる。											
5 事業の内容	湘南花の展覧会の開催											
	スケジュール											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催骨子の検討					内容の決定→調整及び準備							
												

	取組の全体像				
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
6 今後の展望・方向性	 <p>「湘南花の展覧会」は、参加者や来場者から好評を得ており、また生産者も市町の枠を超えて意欲的に取り組んでもらえていることから、広報イベントとしての開催価値は高いものがあるため、事業は継続していくこととし、毎年度、その実施結果について検証、課題整理を行い、次年度の開催に活かしていくこととする。また、その他の事業については、生産者等から具体的な要望が出た場合などは、事業実施に向けてそのニーズや必要性について検討していくこととする。</p>				
7 予算見込額 (千円)	令和7年度 555	令和8年度 555	令和9年度 555	令和10年度 555	
8 予算要求額	節別	金額 (千円)	内訳等		
	報 償 費	46	生産者による講習会等講師謝礼、巡回員謝礼		
	旅 費	0			
	需 用 費	33	花育関連資材、消耗品、PR活動費用等		
	役 務 費	16	収入印紙代、保険料		
	委 託 料	460	展覧会会場設置・撤去、ポスター作成		
	使用料及び賃借料	0			
	支出計	555			
	財源内訳	金額 (千円)	備考		
	特定財源	市町村振興協会助成金	555	(公財) 神奈川県市町村振興協会の市町村共同事業助成金を活用	
		事業費負担金(2市1町)	0		
		その他	0		
	一般財源	0			
収入計	555				
9 備考	「湘南花の展覧会」は、湘南花の展覧会実行委員会が主催する。				

湘南広域都市行政協議会 令和7年度事業計画

1 テーマ	新規就農者の受け入れ及び定着支援による耕作放棄地の発生防止及び解消																																																
2 概要・取組経過	<p>・平成24年度に「藤沢市、茅ヶ崎市及び寒川町広域連携による新規就農者受入支援及び農地情報の提供に関する協定書」を締結し、統一ルールによる新規就農者受入支援及び農地情報の提供を開始し、平成27年度からは新たに新規就農者同士の交流・意見交換の場を設ける事業を開始、講師を招いての販路拡大についての講習会や、他市町の優良新規就農者のほ場見学などを実施した。</p> <p>・平成29年度は、一般社団法人神奈川県農業会議の方を講師に招き、農業者の労務管理ポイント、労災保険制度特別加入制度、農の雇用事業についての講習会を実施した。</p> <p>・平成30年度は、新規就農者と各市町の農業委員を対象に、神奈川県農業技術センター普及指導部野菜課の職員を講師に招き「病害虫の生態と対策」について講習会を実施した。</p> <p>「貸出希望農地情報の共有」については、全国農地ナビが稼働している状況を踏まえ、全国農地ナビを活用しながら、新規就農者の希望に応じて各市町で詳細情報を共有することとした。また、新規就農者の受け入れ要件の見直し及び整理を行った。</p> <p>国の新規就農者に対する補助金である「農業次世代人材投資資金（経営開始型）」では、制度改正により新たに交付2年目終了後の新規就農者に評価区分を3段階とした中間評価を行うことが義務付けられた。この中間評価の実施方法について検討を行い、試行実施期間における評価項目及び基準を決定した。</p> <p>・令和元年度は新規就農者を対象に、トキタ種苗（株）大利根研究農場の見学会、先進農家である（株）久松農園のほ場見学及び意見交換会を実施した。</p> <p>・令和2年度は新規就農者を対象に、茅ヶ崎市の先進農家「伊右衛門農園」のほ場見学を実施した。</p> <p>・令和3年度は新規就農者を対象に、平塚市の先進農家「いかす平塚圃場」のほ場見学を実施した。</p> <p>・令和4年度は新規就農者を対象に、相模原市の先進農家の出荷施設の見学を実施した。</p> <p>・令和5年度は新規就農者を対象に、トキタ種苗（株）大利根研究農場の見学を実施した。</p> <p>・令和6年度は新規就農者を対象に、厚木市の新規就農者2名のほ場見学を実施した。</p>																																																
3 事業の目的	<p>持続可能な社会の実現のための開発目標でSDGs（Sustainable Development Goals）の目標のうち「2 飢餓をゼロに」（飢餓を終わらせ、食糧安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。）にも結びつく取組であろう新規就農者数の増加、またその定着を促進することにより、耕作放棄地の発生防止及び解消を図る。</p>																																																
SDGsとの関連	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>2 飢餓をゼロに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>15 陸の豊かさを守ろう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> </div> </div> <p>【目標2】飢餓をゼロに 【目標15】陸の豊かさを守ろう</p> <p>【目標9】産業と技術革新の基盤をつくろう 【目標17】パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>【事業目的に係るSDGsの視点】 ・SDGsの目標「2 飢餓をゼロに」の実現に向け、2市1町で連携・情報の共有をすることにより新規就農者数を増加させ、持続可能な農業を促進させる。</p>																																																
4 期待する成果	<p>・所有者が管理しきれなくなった農地を新規就農者に斡旋することにより、耕作放棄地の発生防止及び解消につながる。</p> <p>・新規就農者の経営の安定化に資する施策を講じることにより、持続的な耕作放棄地の発生防止及び解消効果が期待できる。</p>																																																
5 事業の内容	<p>①統一ルールによる新規就農者の受入支援 ②新規就農希望者情報の共有 ③貸出希望農地情報の必要に応じた提供 ④新規就農者の集いの開催（ほ場見学）</p>																																																
5 事業の内容	<p style="text-align: center;">スケジュール</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="12">①新規就農者受入支援</td> </tr> <tr> <td colspan="6">②新規就農希望者情報の共有</td> <td colspan="6">③貸出希望農地情報の必要に応じた提供</td> </tr> <tr> <td colspan="3">開催骨子の検討</td> <td colspan="3">内容の決定→調整及び準備</td> <td colspan="6">■新規就農者の集いの開催(ほ場見学)</td> </tr> </tbody> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	①新規就農者受入支援												②新規就農希望者情報の共有						③貸出希望農地情報の必要に応じた提供						開催骨子の検討			内容の決定→調整及び準備			■新規就農者の集いの開催(ほ場見学)					
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																						
①新規就農者受入支援																																																	
②新規就農希望者情報の共有						③貸出希望農地情報の必要に応じた提供																																											
開催骨子の検討			内容の決定→調整及び準備			■新規就農者の集いの開催(ほ場見学)																																											

		取組の全体像			
		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6 今後の展望・方向性		新規就農者の受入及び定着支援による耕作放棄地の発生防止及び解消	新規就農者の受入及び定着支援による耕作放棄地の発生防止及び解消	新規就農者の受入及び定着支援による耕作放棄地の発生防止及び解消	新規就農者の受入及び定着支援による耕作放棄地の発生防止及び解消
		<p>・毎年度、事業実施状況について検証、課題整理を行い、新規就農者が円滑に就農できるよう、事業を継続していく。また、次世代の農業者として継続的な経営ができる新規就農者を増やすため、定着支援にも力を入れる。</p> <p>・近年、農地法等の改正や、都市農地の貸借に関する新制度がスタートするなど、農業行政を取り巻く環境はめまぐるしく変化している。新規就農者支援も含め、この変化に対応できるよう、2市1町で適宜情報交換、協議、協力等をしていく。</p>			
7 予算見込額 (千円)		令和7年度 180	令和8年度 180	令和9年度 180	令和10年度 180
8 予算要求額	節別		金額 (千円)	内訳等	
	報	償	費	22	ほ場見学先謝礼 11,000×2か所
	旅		費	0	
	需	用	費	9	消耗品購入費 (鉛筆・用紙類・インク代等)
	役	務	費	10	振込手数料、保険料等
	委	託	料	0	
	使用料及び賃借料			139	バス使用料 (有料道路通行料を含む)
	支出計			180	
	財源内訳			金額 (千円)	備考
	特定財源	市町村振興協会助成金		180	(公財) 神奈川県市町村振興協会の市町村共同事業助成金を活用
		事業費負担金(2市1町)		0	
その他			0		
一般財源			0		
収入計			180		
9 備考					

湘南広域都市行政協議会 令和7年度事業計画

1 テーマ	文化芸術活動の支援											
2 概要・取組経過	<p>各市町の文化行政の在り方や各々で抱える課題を洗い出し意見交換をするなど、今後部会で取り組むべき課題についての検討を継続して行っている。</p> <p>令和5年度には各市町の文化団体に対し、SNSの利用についてアンケート調査を行ったため、令和6年度についてはアンケート結果を分析し、その内容を踏まえた中で、2市1町で今後どのような事業を行うべきかを話し合った。その結果、令和7年度は担い手育成を目的とした「アートイベント」を開催することとなり、その事業内容等について検討を行った。</p>											
3 事業の目的	文化芸術活動の担い手育成と、2市1町における文化芸術の発展と推進											
SDGsとの関連												
	【目標4】質の高い教育をみんなに						【目標11】住み続けられるまちづくりを					
	【目標17】パートナーシップで目標を達成しよう											
	<p>【事業目的に係るSDGsの視点】 それぞれがもっている文化や芸術の違いを認識し、それらを高めていくことで、湘南地域の魅力が高まり、住んでみたい・住み続けられるようなまちづくりを目指す。</p>											
4 期待する成果	<p>自治体の枠を超え、幅広い世代における文化・芸術活動へ理解と参加が進み、自治体内における文化活動の活性化が図られる。また、さまざまな文化芸術における担い手の育成や継承を通じて、地域における暮らしの質が高められることを期待する。</p>											
5 事業の内容	<p>令和7年度も引き続き、文化・芸術の裾野を広げ、継承し、次世代に繋げていくことを目指し、部会内で意見交換を行いながら、自治体の枠を超えて、文化団体や文化活動を行う人等に対し効果的な支援策等を考えていく。</p> <p>また、2市1町にゆかりのあるアーティストによる幅広い世代がアートに触れる機会の創出及び担い手育成を目的としたイベントの開催を行う。</p>											
	スケジュール											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	■第1回部会		■第2回部会			■第3回部会				■第4回部会		
						■イベント開催						
						令和8年度に向けた取り組みの検討						
						→						

取組の全体像									
令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度			
6 今後の展望・方向性	意見交換・方向性の検討		意見交換・方向性の検討		意見交換・方向性の検討		意見交換・方向性の検討		
	担い手育成事業		担い手育成事業 文化団体の交流事業		担い手育成事業 文化団体の交流事業		担い手育成事業 文化団体の交流事業		
<p>担い手育成を目的とする事業の効果や今後の予算確保の実現性について総合的に検討を行い、事業の継続性について検討していく。また既存文化団体への支援について、各市町の状況を確認しながら効果的な方法を検討していく必要がある。</p>									
7 予算見込額 (千円)	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		
	502		502		502		502		
8 予算要求額	節別		金額 (千円)		内訳等				
	報 償 費		0						
	旅 費		0						
	需 用 費		0						
	役 務 費		2		振込手数料				
	委 託 料		500		担い手育成イベント開催委託				
	使用料及び賃借料		0						
	支出計		502						
	財源内訳		金額 (千円)		備考				
	特定財源	市町村振興協会助成金		502		(公財) 神奈川県市町村振興協会の市町村共同事業助成金を活用			
		事業費負担金(2市1町)		0					
		その他		0					
一般財源		0							
収入計		502							
9 備考									

湘南広域都市行政協議会 令和7年度事業計画

1 テーマ	ICT活用に関する共通課題の調査研究・情報共有																							
2 概要・取組経過	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度は、令和5年度に引き続き各自治体におけるDXの推進等について、各自治体の取組状況の共有や直面している課題及び課題解決のための方策について議論を深めた。 「書かない窓口」や「生成AIの活用」等について、情報共有等を行った。 昨年度に引き続き、会議の運営方法として、「3密（密閉・密集・密接）」を避けるため、従来の集合型の会議ではなく、Web会議システムを活用して会議を開催した。 広域情報部会の今後の方向性について検討を行った。 																							
3 事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 各団体のICT活用に関する共通課題に対して、調査研究や情報共有を行うことにより、課題解決を図る。 SDGsの目標8に掲げられている持続可能な経済成長や働きがいのある人間らしい雇用、目標9に掲げられている強靱なインフラ構築等について、自治体DX推進計画の重点取組事項の調査研究、情報共有を行い促進を図る。 																							
SDGsとの関連																								
	<p>【目標8】働きがいも経済成長も</p> <p>【目標9】産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>【目標17】パートナーシップで目標を達成しよう</p>																							
	<p>【事業目的に係るSDGsの視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGsの目標17に掲げられているパートナーシップについて、2市1町で連携して取り組みを行っていきます。 																							
4 期待する成果	各団体の状況に応じたICT活用、DXの推進																							
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度の実績を踏まえて、引き続き行政におけるICTの活用方法やDXの推進について、国で策定された「自治体DX推進計画」の重点取組事項である「自治体フロントヤード改革の推進」、「自治体情報システムの標準化・共通化」等を踏まえて、議論及び情報共有を行う。ICTの活用については、各自治体における導入状況及び成果だけでなく、日々開発されている様々な製品の情報についても共有を行う。また、2市1町で連携して行うことにより効果が見込まれるものについては、連携して実施することを検討する。 各団体において課題に対する取組状況の報告や検討事項に対して、意見交換や情報共有を行う。 最新のICT活用事例等についての情報収集、動向調査を実施する。 社会情勢等を踏まえて、最新のICT活用に関する研修を実施する。 検討結果について、情報共有及び課題等の整理を行い、今後の活動の展望や方向性について検討する。 																							
	スケジュール																							
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td> </tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月												
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="4">取組状況の共有、課題洗い出し</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td colspan="6">課題に対する取組状況の報告、情報共有</td> <td colspan="6"></td> </tr> </table>	取組状況の共有、課題洗い出し												課題に対する取組状況の報告、情報共有										
取組状況の共有、課題洗い出し																								
課題に対する取組状況の報告、情報共有																								
<p style="text-align: center;">最新事例の情報収集、動向調査・ICT活用に関する研修実施</p>																								
<p style="text-align: center;">課題等の整理、今後の方向性検討</p>																								

	取組の全体像			
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6 今後の展望・方向性	共通課題の調査研究・意見交換	共通課題の調査研究・意見交換	共通課題の調査研究・意見交換	共通課題の調査研究・意見交換
	部会のあり方について検討	部会のあり方について検討	部会のあり方について検討	部会のあり方について検討
	<ul style="list-style-type: none"> ・2市1町の共通課題を中心に意見交換、情報共有、調査研究を継続的に行う。 ・2市1町にて連携して行うことにより効果が見込まれる事業については、積極的に連携し、事業を行っていく。 ・事業の目的や具体的な事業内容を踏まえながら、部会のあり方について検討を行う。 			
7 予算見込額 (千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	0	0	0	0
8 予算要求額	節別		金額 (千円)	内訳等
	報 償 費		0	
	旅 費		0	
	需 用 費		0	
	役 務 費		0	
	委 託 料		0	
	使用料及び賃借料		0	
	支出計		0	
	財源内訳		金額 (千円)	備考
	特定財源	市町村振興協会助成金	0	
		事業費負担金(2市1町)	0	
		その他	0	
	一般財源		0	
収入計		0		
9 備考				

湘南広域都市行政協議会 令和7年度事業計画

1 テーマ	脱炭素社会の実現に向けた市民・町民・事業者向け環境事業の実施	
2 概要・取組経過	<p>・平成20年11月に、地球温暖化防止を広域で推進するため、湘南広域都市行政協議会の活動の一環として、「省エネ・省資源行動及び緑の保全等による地球温暖化防止に向けた取組の推進」を取組テーマとして、広域環境部会（湘南エコウェーブ）を立ち上げ、各種プロジェクトや気候変動適応策の取組など、地球温暖化対策に取り組んできた。</p> <p>・令和2年度から令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の中止やオンライン形式による事業への移行となったが、令和5年度から感染症法における位置付けが変更されたことに伴い、親子環境バスツアーや講演会など、各種イベント事業の実施を再開したほか、啓発物品の配布等を行った。</p> <p>・令和6年度は引き続きイベント事業や啓発物品の配布等を行いつつ、令和7年度以降における新たな取組の方向性について議論を進めた。</p>	
3 事業の目的	<p>国では令和2年に「2050年カーボンニュートラル宣言」を表明し、令和3年に「2030年度に温室効果ガス46%削減（2013年度比）」を目指すことを掲げた。2市1町としても、共同でカーボンニュートラルに資する取組を実施し、2市1町の区域内における脱炭素社会を目指す。</p>	
SDGsとの関連	  	 
	<p>【目標6】安全な水とトイレを世界中に</p> <p>【目標12】つくる責任つかう責任</p> <p>【目標17】パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>【目標7】エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> <p>【目標13】気候変動に具体的な対策を</p>
4 期待する成果	<p>市民・町民及び事業者に対し、省エネに繋がる取組を実施することにより、行動変容を促し、家庭部門、産業部門及び業務その他部門における温室効果ガス排出量の削減に寄与する。</p>	
5 事業の内容	<p>・定例会を開催し、取組内容の協議や事業実施結果の共有、及び必要な調整等を行う。</p> <p>・令和7年度以降の新たな取組方針として、「多様な主体との連携による家庭部門へのアウトプット型事業の展開」と、「産業部門及び業務その他部門への省エネルギー促進」をテーマに掲げ、各種事業を実施することとする。</p> <p>・取組期間は国の目標年度と合わせた令和12年度までとし、令和7年度から令和9年度までの3カ年を前期、令和10年度から令和12年度までの3カ年を後期と2期に区分し、前期における取組を検証し、後期において見直し等を行う。</p> <p>・前期における取組としては、「①子ども向け体験型デコ活運動」と、「②事業者向け省エネ促進プログラム」を実施する。</p> <p>・「①子ども向け体験型デコ活運動」では、国が進めている「デコ活」の一環として、エコ・クッキングに関する事業について、協定を締結した企業との連携により年2回行う。</p> <p>・「②事業者向け省エネ促進プログラム」では、令和7年度で公共施設を対象に省エネ診断を実施後、令和8年度において診断結果及び運用改善等の取組成果等を展示会形式などにより周知し、企業への省エネを促す。また、省エネ促進プラットフォームイベントをセミナー形式で実施する。</p> <p>・その他の取組として、③令和6年度までに実施してきた各種取組（啓発物品の配布、職員研修）については継続的に実施する。</p> <p>・今後については、④前期における取組の検証及び見直しを行い、後期における取組に繋げていく。また、後期の取組を踏まえ、令和12年度以降の事業展開を検討する。</p>	

	スケジュール																																		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																							
5 事業の内容	<p>■ 広域環境部会 第1回会議</p> <p>■ 広域環境部会 第2回会議</p> <p>■ (仮称) エコ・クッキングカードイベント</p> <p>■ (仮称) 体験型エコ・クッキング会</p> <p>公共施設における省エネ診断</p> <p>省エネ診断結果を踏まえた運用改善</p> <p>■ 省エネ促進プラットフォームイベント (セミナー)</p> <p>■ 環境月間</p> <p>各市町の環境イベントに合わせた普及啓発活動</p> <p>■ 職員研修</p>																																		
	<p>取組の全体像</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th><th>令和10年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①子ども向け体験型デコ活運動の実施</td><td>①子ども向け体験型デコ活運動の実施</td><td>①子ども向け体験型デコ活運動の実施</td><td></td></tr> <tr> <td>②-1 公共施設への省エネ診断等の実施</td><td>②-1 事業者向け省エネ展示会等の実施</td><td>②-1 事業者向け省エネ展示会等の実施</td><td></td></tr> <tr> <td>②-2 省エネ促進プラットフォームイベントの実施</td><td>②-2 省エネ促進プラットフォームイベントの実施</td><td>②-2 省エネ促進プラットフォームイベントの実施</td><td></td></tr> <tr> <td>③啓発物品の配布、職員研修等の実施</td><td>③啓発物品の配布、職員研修等の実施</td><td>③啓発物品の配布、職員研修等の実施</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>④前期における取組の検証及び見直し</td><td>④検証を踏まえた見直し後の取組の実施</td></tr> </tbody> </table>												令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	①子ども向け体験型デコ活運動の実施	①子ども向け体験型デコ活運動の実施	①子ども向け体験型デコ活運動の実施		②-1 公共施設への省エネ診断等の実施	②-1 事業者向け省エネ展示会等の実施	②-1 事業者向け省エネ展示会等の実施		②-2 省エネ促進プラットフォームイベントの実施	②-2 省エネ促進プラットフォームイベントの実施	②-2 省エネ促進プラットフォームイベントの実施		③啓発物品の配布、職員研修等の実施	③啓発物品の配布、職員研修等の実施	③啓発物品の配布、職員研修等の実施				④前期における取組の検証及び見直し
令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度																																
①子ども向け体験型デコ活運動の実施	①子ども向け体験型デコ活運動の実施	①子ども向け体験型デコ活運動の実施																																	
②-1 公共施設への省エネ診断等の実施	②-1 事業者向け省エネ展示会等の実施	②-1 事業者向け省エネ展示会等の実施																																	
②-2 省エネ促進プラットフォームイベントの実施	②-2 省エネ促進プラットフォームイベントの実施	②-2 省エネ促進プラットフォームイベントの実施																																	
③啓発物品の配布、職員研修等の実施	③啓発物品の配布、職員研修等の実施	③啓発物品の配布、職員研修等の実施																																	
		④前期における取組の検証及び見直し	④検証を踏まえた見直し後の取組の実施																																
6 今後の展望・方向性	<p>・上記「5 事業の内容」のとおり、令和7年度から令和9年度までの3カ年を前期として、「①子供向け体験型デコ活運動」「②事業者向け省エネ促進プログラム」を実施する。また、③啓発物品の配布、職員研修等についても引き続き実施する。</p> <p>・令和9年度において④取組を検証するとともに見直しを行い、令和10年度以降の後期において必要な事業を展開する。</p>																																		

7 予算見込額 (千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	403	403	403	403	
8 予算要求額	節別	金額 (千円)	内訳等		
	報 償 費	245	講師謝礼 (エコクッキング体験学習、エコクッキングカードゲーム、企業による職員研修)		
	旅 費	0			
	需 用 費	79	環境啓発品		
	役 務 費	79	振込手数料、イベント保険料及び省エネ診断手数料		
	委 託 料	0			
	使用料及び賃借料	0			
	支出計	403			
	財源内訳	金額 (千円)	備考		
	特定財源	市町村振興協会助成金	403	(公財) 神奈川県市町村振興協会の市町村共同事業助成金を活用	
		事業費負担金(2市1町)	0		
		その他	0		
	一般財源	0			
収入計	403				
9 備考					

湘南広域都市行政協議会 令和7年度事業計画

1 テーマ	広域産業振興施策の推進											
2 概要・取組経過	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度までは、2市1町管内の事業者による工業見本市「テクニカルショウヨコハマ」への共同出展を行うとともに、小学生を対象とした「湘南ものづくりワークショップ」を実施するなど、2市1町の企業間の交流を図りながら、共通の課題に対する施策を展開してきた。 ・令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者の安全を考慮し、やむを得ず共同出展やものづくりワークショップを中止した。 ・令和4年度は、2市1町の事業者が共同で展示会を視察し、最先端の技術やデザイン、PR方法についての見聞を広げ、今後のものづくりや情報発信の参考とする事業を「先端産業視察事業」として実施予定であったが、コロナ感染者急増等の理由から、中止とした。湘南産業振興財団（湘南新産業創出コンソーシアム）が主催する「湘南ビジネスコンテスト」等は、コロナ禍であっても、広域事業として継続して実施してきた。 ・令和5年度は、新たに、2市1町で共通する課題である人材不足をテーマとしたセミナーを開催した。 ・令和6年度も引き続き人材不足、特に定着を意識した採用をテーマとしたセミナーを開催した。 ・令和7年度は、令和6年度の内容を踏まえ、採用後の人材定着などをテーマにしたセミナーを開催していく。 											
3 事業の目的	2市1町の行政、地域経済団体、大学等が連携し、広域的に実施することで効果的な産業振興施策の推進を行う。											
SDGsとの関連	 											
	【目標9】産業と技術革新の基盤をつくろう						【目標17】パートナーシップで目標を達成しよう					
	【事業目的に係るSDGsの視点】 SDGsの目標9では、「包括的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る」とされており、そうした視点を取り入れて、2市1町のパートナーシップで取り組みを進めます。											
4 期待する成果	2市1町の行政や関係機関が持つ地域資源やネットワーク等を有効活用することにより相乗・補完効果が得られ、2市1町管内の事業者同士のつながり創出や、行政としても幅広い知見を得ることができる。											
5 事業の内容	【人材不足解消セミナー事業】 人材不足をテーマとしたセミナー事業を、事業者のニーズを踏まえて開催する。テーマに沿った講師を招き、求人求職に関する情報の共有や、中小企業の人材確保・定着のノウハウ等を学ぶことができる機会を設ける。事業の実施に当たっては、参加者同士の交流促進や地域経済団体との連携を図る。 【湘南広域創業支援事業】 創業者や新事業進出事業者との接点を作り関係性を構築することで、当該事業者が抱える課題の解決やニーズに応え、スタートアップ支援とノウハウの蓄積を行う。 【情報共有・勉強会】 経済団体（商工会議所、商工会、湘南産業振興財団）との情報共有及び地域課題の調査研究を行う。 また、取り組む課題等に応じて専門的な知見を有する金融機関や学術機関、その他関係機関の協力も得ながら実効性のある施策に取り組む。											
	スケジュール											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
							■人材不足解消セミナー事業					
		湘南広域創業支援事業					■湘南ビジネスコンテスト事業					
											■情報共有・勉強会	

		取組の全体像												
		令和7年度			令和8年度			令和9年度			令和10年度			
6 今後の展望・方向性		産業振興の推進			産業振興の推進			産業振興の推進			産業振興の推進			
		事業見直し、新規施策の調査・検討			事業見直し、新規施策の調査・検討			事業見直し、新規施策の調査・検討			事業見直し、新規施策の調査・検討			
		<p>・人材不足解消をテーマとした事業実施について、2市1町の地域経済団体（商工会議所・商工会、湘南産業振興財団）との連携体制を強化し、セミナー等の実施や効果的な情報発信など地域の課題にあった支援を推進する。また人材不足のニーズ等を踏まえてターゲットを進め、効果的な事業実施につなげていく。</p> <p>・人材不足解消をテーマにしたセミナーを令和5年度から実施しており、令和6年度より内容を深堀している。令和7年度以降は、採用後の定着や外国人人材の採用、ICT・ロボット導入による省人化などについて、事業者がかかえる課題を取り上げていく。</p> <p>・より実効性のある広域産業振興施策を推進するため、既存事業についてはPDCAを行うとともに、事業者ニーズや働き方の変化を踏まえて人材不足解消に係る新規施策の研究・検討を進めていく。</p>												
7 予算見込額 (千円)		令和7年度 354			令和8年度 354			令和9年度 354			令和10年度 354			
8 予算要求額	節別	金額(千円)			内訳等									
	報 償 費	0												
	旅 費	0												
	需 用 費	0												
	役 務 費	2			振込手数料									
	委 託 料	352			人材不足解消セミナー事業委託料									
	使用料及び賃借料	0												
	支出計	354												
	財源内訳	金額(千円)			備考									
	特定財源	市町村振興協会助成金	354			(公財)神奈川県市町村振興協会の市町村共同事業助成金を活用								
		事業費負担金(2市1町)	0											
その他		0												
一般財源		0												
収入計	354													
9 備考														

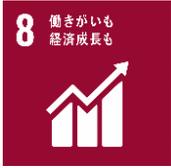
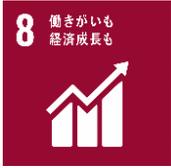
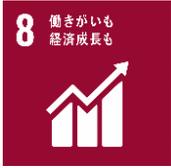
取組の全体像									
令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度			
6 今後の展望・方向性	啓発事業の広域実施		啓発事業の広域実施		啓発事業の広域実施		啓発事業の広域実施		
	<ul style="list-style-type: none"> ・DV防止リーフレットの共同作成を行う。 ・人権・ジェンダー平等・男女共同参画に関するリーフレット等の共同作成を行う ・様々な法律改正に対応するため、政策課題の共有を図るとともに、啓発方法の調査研究等を引き続き行い、より効果的な施策の実施に努める。 								
7 予算見込額 (千円)	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		
	541		541		541		541		
8 予算要求額	DV防止のための意識啓発事業								
	節別		金額(千円)		内訳等				
	報償費		0						
	旅費		0						
	需用費		145		DV防止リーフレット(印刷)				
	役務費		2		振込手数料				
	委託料		0						
	使用料及び賃借料		0						
	支出計		147						
	財源内訳		金額(千円)		備考				
	特定財源	市町村振興協会助成金		147		(公財)神奈川県市町村振興協会の市町村共同事業助成金を活用			
		事業費負担金(2市1町)		0					
		その他		0					
	一般財源		0						
	収入計		147						
	人権・ジェンダー平等・男女共同参画に関する啓発事業								
	節別		金額(千円)		内訳等				
	報償費		0						
	旅費		0						
	需用費		391		人権・ジェンダー平等啓発リーフレット(印刷) (高校生以上向け・小学生向け)				
	役務費		3		振込手数料				
	委託料		0						
	使用料及び賃借料		0						
支出計		394							
財源内訳		金額(千円)		備考					
特定財源	市町村振興協会助成金		394		(公財)神奈川県市町村振興協会の市町村共同事業助成金を活用				
	事業費負担金(2市1町)		0						
	その他		0						
一般財源		0							
収入計		394							
9 備考									

湘南広域都市行政協議会 令和7年度事業計画

1 テーマ	アーバンスポーツを基軸とした地域の活性化																																																																																															
2 概要・取組経過	<p>湘南エリアは、相模湾に近接することからサーフィンなどのマリンスポーツが昔から盛んである。また、サーファーの陸での練習はスケートボードを使うことから、湘南地域では日常的にアーバンスポーツに親しむ方も多く、地域を象徴するスポーツになりつつある。</p> <p>それをさらに印象付ける要因として、現在、スケートボードやBMXの国際・全国大会で湘南ゆかりの選手が活躍していることがある。そうした選手たちの中には、「鵠沼海浜公園スケートパーク（現 鵠沼海浜公園HUG-RIDE PARK）」で開催されたイベントに参加し、プレーする姿に観て、興味を持ち、スケートボードやBMXをはじめた選手も多い。</p> <p>湘南地域に親和性のあるスポーツであること、国際大会で活躍するゆかりのある選手の存在、2024年2月に「UCI BMXフリースタイルワールドカップ（開催地：江の島）」を開催した実績や「鵠沼海浜公園HUG-RIDE PARK」のオープンを絶好の機会と捉え、アーバンスポーツ界を牽引する次代の選手（子ども達）を持続的に輩出し、2市1町の文化として醸成させるなど地域活性化を誘因する取り組みとして、子ども達を対象にしたアーバンスポーツのイベントを開催する。</p>																																																																																															
3 事業の目的	<p>スケートボードやBMXなどアーバンスポーツの楽しさを次代に体感できるイベントを開催し、アーバンスポーツで活躍する選手の輩出や関係するイベントや大会等の誘致など、2市1町の地域活性化に資する誘因を図る。</p>																																																																																															
SDGsとの関連	 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	 <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	<p>【目標3】すべての人に健康と福祉を</p> <p>【目標8】働きがいも経済成長も</p> <p>【目標11】住み続けられるまちづくりを</p> <p>【目標17】パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>【事業目的に係るSDGsの視点】 健康的で住み続けられるまちづくりというSDGsの目標達成に向け、行政・住民・事業者が連携して取り組むことを目指す。</p>																																																																																											
4 期待する成果	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックなど世界で活躍するアーバンスポーツ選手を2市1町から輩出 ・2市1町にゆかりの選手の活躍を機に、大会やイベントの誘致など地域活性化に資する取り組みを誘因 																																																																																															
5 事業の内容	<p>1 競技の説明・用具の紹介（10分） これからアーバンスポーツをはじめると子ども達向けには始めるにあたっての必要な用具の紹介等を行う。</p> <p>2 競技の体験会（60分） 湘南ゆかりの選手やインストラクターなどのサポートによる競技の体験会を実施。</p> <p>3 選手によるトリック披露（20分） 湘南ゆかりの選手によるトリックの披露。</p> <p>4 アスリートによるトークセッション（30分） 参加した子どもたちからの質問を受けながら、2市1町ゆかりの選手たちによるトークセッションを行う。</p> <table border="1" data-bbox="363 1809 1445 2089"> <thead> <tr> <th colspan="12">スケジュール</th> </tr> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">開催内容に関する2市1町間での調整</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">選手・施設管理者との協議調整</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">イベント周知・申込</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">■イベントの開催</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="4">次年度事業に関する打合せ</td> </tr> </tbody> </table>												スケジュール												4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	開催内容に関する2市1町間での調整												選手・施設管理者との協議調整																イベント周知・申込																■イベントの開催												次年度事業に関する打合せ			
スケジュール																																																																																																
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																					
開催内容に関する2市1町間での調整																																																																																																
選手・施設管理者との協議調整																																																																																																
				イベント周知・申込																																																																																												
								■イベントの開催																																																																																								
								次年度事業に関する打合せ																																																																																								

	取組の全体像				
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	6 今後の展望・方向性	<p>開催にかかる打合せ等</p> <p>■イベントの開催</p> <p>次年度事業打合せ等</p>	<p>開催にかかる打合せ等</p> <p>■イベントの開催</p> <p>次年度事業打合せ等</p>	<p>開催にかかる打合せ等</p> <p>■イベントの開催</p> <p>次年度事業打合せ等</p>	<p>開催にかかる打合せ等</p> <p>■イベントの開催</p> <p>次年度事業打合せ等</p>
<p>・アーバンスポーツに触れられる機会を継続的に設け、アーバンスポーツに楽しむ層を拡大していく。アーバンスポーツを湘南の文化として醸成し、街のPRにつなげる。</p> <p>・開催にあたっては、民間企業とタイアップしたイベントの開催や協賛の獲得など持続的かつ地域活性化につながる連携方策の可能性も検討していく。</p> <p>・オリンピックなど世界で活躍する選手を2市1町から輩出し、大会やイベントの誘致、2市1町のPR、関係する選手やスタッフの移住など地域活性化に資する取り組みを誘因する。</p>					
7 予算見込額 (千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	461	461	461	461	
8 予算要求額	節別		金額 (千円)	内訳等	
	報 償 費		365	インストラクター・選手等謝礼	
	旅 費		0		
	需 用 費		0		
	役 務 費		26	振込手数料、イベント参加保険料	
	委 託 料		0		
	使用料及び賃借料		70	施設利用料、スケートボード・BMXレンタル代	
	支出計		461		
	財源内訳		金額 (千円)	備考	
	特定財源	市町村振興協会助成金		461	(公財) 神奈川県市町村振興協会の市町村共同事業助成金を活用
		事業費負担金(2市1町)		0	
		その他		0	
	一般財源		0		
収入計		461			
9 備考					

湘南広域都市行政協議会 令和7年度事業計画

1 テーマ	<p>スポーツチームとの連携による地域の活性化 ～ホームタウンチームの振興方策等に関する研究～</p>																																																												
2 概要・取組経過	<p>2市1町をホームタウンとするプロスポーツチームは「湘南ベルマーレ」「湘南ユナイテッドBC」及び「アニージャ湘南」の3チームが存在する（アニージャ湘南は茅ヶ崎市、寒川町がホームタウン）。</p> <p>湘南ベルマーレはJリーグ加盟から30周年を迎え、毎年度、ホームタウンとなっている自治体と協働したイベント等が行われ、市民・町民のチームの認知度や愛着も深まりつつある。一方、アニージャ湘南や湘南ユナイテッドBCは、創設年も浅く、知名度及び認知度はベルマーレと比較して低く、チームから地域への貢献事例も少ないのが現状である。市民・町民に愛されるチームになり、チームの活動（練習・試合など）の基盤を整えるためには、チームの活動を支援するとともに、チーム側も地域貢献活動を行うなど、2市1町及びスポーツチーム双方にメリットがある取り組みを持続的に実施していく必要がある。</p> <p>そこで令和7年度以降、チームに貸出する体育館等の施設利用の仕方（施設の予約、利用料金、施設の利用方法など）やチームの振興に関わる方策の課題等を共有し、支援の方策を研究・改善していく。また併せて、ホームタウンチーム側から2市1町への地域貢献の方策も検討する。</p> <p>こうした方策を検討・実施していくことで、チームの成長を支えるとともに、ひいてはホームタウンチームから2市1町の地域活性化につなげていこうとするものである。</p>																																																												
3 事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ホームタウンチームが活動しやすい環境を整える。 ホームタウンチームとの連携した地域振興（健康、教育、プロモーション等）を検討する。 																																																												
SDGsとの関連	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td style="width:25%;"></td> <td style="width:25%;"></td> <td style="width:25%;"></td> <td style="width:25%;"></td> </tr> <tr> <td>【目標3】すべての人に健康と福祉を</td> <td>【目標8】働きがいも経済成長も</td> <td>【目標11】住み続けられるまちづくりを</td> <td>【目標17】パートナーシップで目標を達成しよう</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【事業目的に係るSDGsの視点】</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・健康的で住み続けられるまちづくりというSDGsの目標達成に向け、行政・住民・関係団体、そしてホームタウンチームが連携して取り組むことを目指す。</td> </tr> </table>					【目標3】すべての人に健康と福祉を	【目標8】働きがいも経済成長も	【目標11】住み続けられるまちづくりを	【目標17】パートナーシップで目標を達成しよう	【事業目的に係るSDGsの視点】				・健康的で住み続けられるまちづくりというSDGsの目標達成に向け、行政・住民・関係団体、そしてホームタウンチームが連携して取り組むことを目指す。																																															
																																																													
【目標3】すべての人に健康と福祉を	【目標8】働きがいも経済成長も	【目標11】住み続けられるまちづくりを	【目標17】パートナーシップで目標を達成しよう																																																										
【事業目的に係るSDGsの視点】																																																													
・健康的で住み続けられるまちづくりというSDGsの目標達成に向け、行政・住民・関係団体、そしてホームタウンチームが連携して取り組むことを目指す。																																																													
4 期待する成果	<ul style="list-style-type: none"> 市民とホームタウンチームが共存してスポーツ施設が利用できるようになる。 スポーツ観戦機会の提供、選手との交流や指導などの機会の提供、まちづくり、健康、教育などの分野でホームタウンチームと協働した取り組みを実施し、市民等のチームに対する愛着や認知度を向上させるとともに、2市1町の活性化を図る。 																																																												
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ホームタウンチームの練習・試合が適正かつ持続的に行えるように2市1町の体育施設の利用方法に関する課題等を共有し、改善を行う。 今後、ホームタウンチームが地域に根付くため、特に次世代向けの取り組みに対する方策を検討する。また、2市1町ごとにホームタウンチームで行った取り組みなどの成果報告を行うとともに、2市1町への波及方策等も検討する。 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th colspan="12">スケジュール</th> </tr> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th> </tr> <tr> <td colspan="4">各ホームタウンチームとの取り組みに対する課題や事例の抽出</td> <td colspan="4">■ 2市1町打合せ</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td colspan="8">各ホームタウンチームとの取り組みに関する改善案等の検討</td> <td colspan="4">■ 2市1町打合せ</td> </tr> <tr> <td colspan="10"></td> <td colspan="2">次年度の協議事項を整理</td> </tr> </table>	スケジュール												4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	各ホームタウンチームとの取り組みに対する課題や事例の抽出				■ 2市1町打合せ								各ホームタウンチームとの取り組みに関する改善案等の検討								■ 2市1町打合せ														次年度の協議事項を整理	
スケジュール																																																													
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																		
各ホームタウンチームとの取り組みに対する課題や事例の抽出				■ 2市1町打合せ																																																									
各ホームタウンチームとの取り組みに関する改善案等の検討								■ 2市1町打合せ																																																					
										次年度の協議事項を整理																																																			

	取組の全体像				
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
6 今後の展望・方向性					
	<p>ホームタウンチームの活動しやすい環境を整え、持続的に行える地域貢献方策の実施を通じて、地域住民から愛されるチームへと成長させ、ひいては2市1町の地域活性化を図る。</p>				
7 予算見込額 (千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	0	0	0	0	
8 予算要求額	節別		金額 (千円)	内訳等	
	報 償 費		0		
	旅 費		0		
	需 用 費		0		
	役 務 費		0		
	委 託 料		0		
	使用料及び賃借料		0		
	支出計		0		
	財源内訳		金額 (千円)	備考	
	特定財源	市町村振興協会助成金		0	
		事業費負担金(2市1町)		0	
		その他		0	
一般財源		0			
収入計		0			
9 備考					